



3月8日に公立一般入試の合格発表があり、3年生全員の4月からの進路先が確定しました。昨年度から前倒しの日程になった公立の入試制度ですが、合格発表後に時間的な余裕が生まれ、新しい進路先への準備ができるというメリットがあります。中学校現場は2学期後半から3学期はめいっぱい凝縮された日程で大変なことも多かったです。



現在、B棟1階の3年教室は主役を失った机が並んでいるだけで、どこか寂しそうです。



その分、学校で元気な意気込みを見せてくれているのが、1・2年生です。1年生は**総合的な学習の発展として「西尾の観光地」体験で佐久島を訪れました。**島の魅力を班ごとに散策しながら堪能するとともに、佐久島しおさい学校の子たちと交流を深め、**佐久島太鼓の演奏を聞いたり、1年生成成のリーフレットの内容を発表したりする活動**を行いました。



また、14日に**令和6年度前期の生徒会役員選挙**も実施しました。**立候補者は過去4年間では一番多い17人。**選挙期間中は各自が朝から応援活動を大きな声でしていました。そして、選挙演説では今年度新たに公開討論会という形を取り入れました。校長室がテレビ局のスタジオに変身。立候補者がテレビ画面に一齐に映っている形で放映を始め、司会を務める視聴覚委員が生徒会に関わる質問を立候補者全員にすると、手を挙げた立候補者が当てられて答える。その様子を教室のテレビ画面で見たうえで投票をするという新しい試みです。



質問に対して立候補者全員が一齐に素早く手を上げたのですが、その手の挙げ方がまるで100羽のハトが一瞬で青空へと飛び立つように、ぱっと音を立てて手が挙がりました。肘は曲げておらず指先まで伸びた挙げ方、立派だなあと心の底から思いました。他の子たちの模範となるものでした。結果発表も当日行い、新役員はその日から動き始めています。**楽しみな姿がいっぱい**出ています。

